

2021年度 消費者志向自主宣言 フォローアップ活動報告書

株式会社日清製粉グループ本社

2022年10月

目次

■ 日清製粉グループについて	3
■ 経営トップのコミットメント	5
■ コーポレートガバナンスの確保	6
■ 消費者志向意識の醸成	7
■ 社内各部門の有機的な連携	8
■ 消費者への情報提供の充実・双方向の情報交換	10
■ 消費者・社会の要望を踏まえた改善・開発	12
■ BtoBforCの取組み	13
■ 健康的な社会・生活の構築に向けて	14

日清製粉グループについて

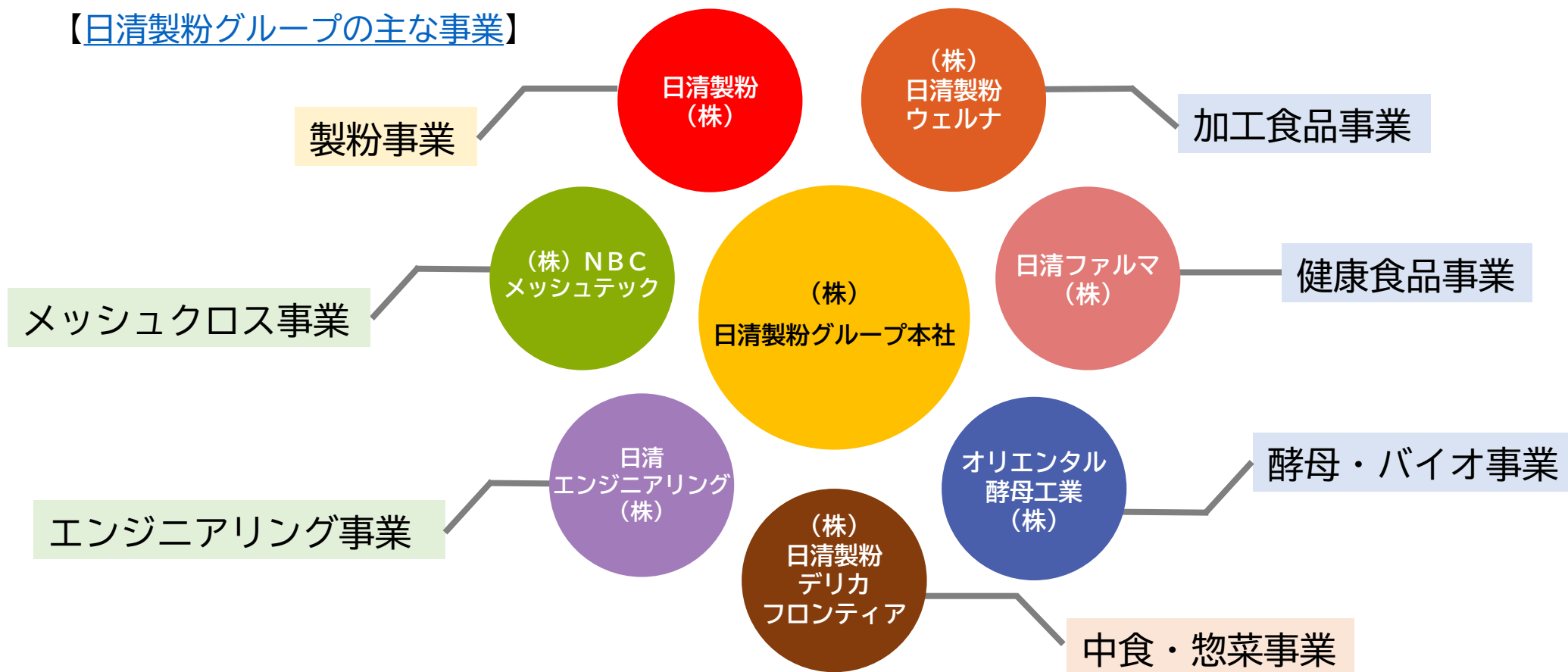
当社グループの中核を担う日清製粉は高品質な小麦粉の国産化と安定供給を目指し、1900年に創業しました。

これまで、社会課題と向き合い、「食のインフラ」を支える国内トップの製粉企業グループとして、多彩な事業を展開してきました。歴史に根差した信頼に基づき、高い品質の製品を安定供給することで、それぞれのマーケットで確かなプレゼンスを確立しています。さらに、グローバル展開や、中食・惣菜といった新規分野に事業領域を拡大し、更なる成長を目指しています。



日清製粉グループについて

【日清製粉グループの主な事業】



日清製粉グループは製粉、加工食品、酵母・バイオ、健康食品、中食・惣菜、エンジニアリング、メッシュクロス等の多彩な事業を展開しています。

経営トップのコミットメント

**日清製粉グループは、健康で豊かな生活づくりへの貢献と共に、
持続可能な社会の実現を目指します。**

日清製粉グループは、小麦粉をはじめとする主要食糧の安定供給と、お客様に高品質な製品・サービスを安定的に提供する社会的使命を果たしてまいります。

また、社会にとって真に必要な企業グループであり続けるため、食品安全、内部統制システムへの取り組み、コンプライアンスの徹底、環境保全・社会貢献・人権尊重等、企業の社会的責任(CSR)を果たし、「安全」・「安心」・「健康」をお届けする企業グループとして、株主、顧客、取引先、社員、社会等のすべてのステークホルダーから積極的に支持されるべく努力を重ねてまいります。

コーポレートガバナンスの確保

さまざまな専門監査の実施

当社グループは、健全な生産活動をするうえで、「人・製品・設備・環境」の『4つの安全』がその前提になると考えています。当社グループの監査体制は、監査等委員による取締役の職務執行の監査や内部監査部による監査だけでなく、専門的な知見を持つ部署による様々な専門監査を行っており、これらの監査を実施することで、必要な指導・改善を行い、それをグループで横展開し、グループ全体の総合的なレベルの維持・向上を図っています。

◆専門監査の内容

設備・安全監査	設備管理や安全衛生管理、防火管理などの業務が適切に実施されていることを確認
環境監査	環境に関連した法令遵守や、省エネルギー・廃棄物の再資源化を通じた環境負荷低減の取組みを確認
品質保証監査	消費者視点に立った品質保証に基づいて製品安全が確保されていることを確認

消費者志向意識の醸成

社員食堂でのエシカルな選択

本社地区の社員食堂で「MSC/ASC Coc認証」を取得し、「サステナブル・シーフード」を使用したメニューの提供をはじめました。これは、水産資源の枯渇という社会課題について考え、日常生活での消費行動に繋げてもらうための取り組みです。他にも、健康や環境保護を目的に定期的に菜食を勧める活動として「ミートフリーマンデー」を実施し、肉の代わりに大豆ミートなどを使用するメニューの提供も行っています。従業員からは、社会課題について考えるきっかけとなる取り組みなので継続してほしいなど、賛同意見が多数寄せられています。



社内各部門の有機的な連携

原材料・製品等の安全性の評価・審査「セーフティレビュー」

採用前の新規原材料・新製品・景品等は、各事業会社でセーフティレビューという審査を行っています。これは、専門知識を持つ技術者が集まり、法令、危害要因分析、ユニバーサルデザイン、環境配慮、表示等、幅広い項目で安全性を総合的に評価し、全評価項目で基準をクリアしなければ、新規原材料・新製品・景品として採用されません。さらに製品上市後も、使用原料や生産工程で問題は発生していないか、製品安全や環境上の問題はないか、設計段階で求めていた品質が満たされているかなどについて確認するため、再度セーフティレビューを実施しています。



【セーフティレビュー内容の一例】

- 専門部署が集まり、それぞれの知見や過去の事件事例を基に、考慮すべきリスクに漏れがないか、洗い出されたリスクへの対応手段が妥当かなどを評価・議論
- パッケージデザインや調理品をもとに、消費者が誤認するリスクや使用時のリスクを確認

社内各部門の有機的な連携

食品ロス削減へ向けた食品の有効活用

オリエンタル酵母工業では、2014年からびわ工場でフラワーペースト^(注)の期限切れ廃棄を削減するために、賞味期限前のフラワーペーストを豚のエサとして活用する取組みを開始しました。その後、埼玉工場にも取組みを広げています。当初はフラワーペーストでしたが、2017年からは原材料等にも展開し、活動を拡大しています。持続可能な社会の実現へ向けて、事業活動を通じた食品ロス削減への取組みを進めてまいります。



廃棄予定だった食品を有効活用することによって、食品ロスの削減だけでなく、廃棄コストの削減や焼却時に発生する温室効果ガスの削減につながっており、事業面、環境面の双方にメリットが生まれています。

注:小麦粉、でん粉などを主原料とし、これに砂糖、油脂、粉乳、卵などを加えてペースト状にし、パンまたは菓子に充填または塗布して食用に供するもの

消費者への情報提供の充実・双方向の情報交換

健康実感パートナー「リブロン」 座談会・インタビューの実施

日清ファルマでは、健康食品の「リブロン」ブランドで様々な製品をお客様に提供しています。当社製品を愛用いただいているお客様と直接コミュニケーションをとる座談会とインタビューを2022年2月より実施しています。その中で、お客様から製品やサービスに対するご意見・ご感想を伺い、今後の製品開発やサービスの向上に役立てています。座談会とインタビューの内容は、研究・開発、製造、販売の担当者とも共有し、それぞれがお客様視点について改めて考える機会にもなっています。また、社外の方に進行役をお願いすることにより、参加者が本音で話しやすい環境を整えています。

座談会は少人数で開催し、お客様の情報交換の場にもなっています。将来的には、このような取組みを拡充してお客様の抱える課題解決や生活の質向上につながる企画を実施していきたいと思えます。



消費者への情報提供の充実・双方向の情報交換

健康情報発信サイト「ウェルナビ」リニューアル

「[ウェルナビ](#)」では、小麦の栄養・健康情報から心身ともに健やかに暮らせるきっかけをつくる情報まで幅広い内容を発信しています。小麦については、小麦ブラン(小麦ふすま)の栄養・健康情報の掲載に加えて、全粒粉を食生活に美味しく取り入れていただける様々なレシピの紹介や、全粒粉を使用しているお店の紹介など、全粒粉をより身近な存在に感じていただけるような情報発信を行っています。また、食や運動、睡眠などをテーマにした読みものや各種イベント情報等、毎日を健やかに過ごすヒントをお届けし、消費者の皆様の健康に役立つ情報発信と、健康のサポートを行っていきます。

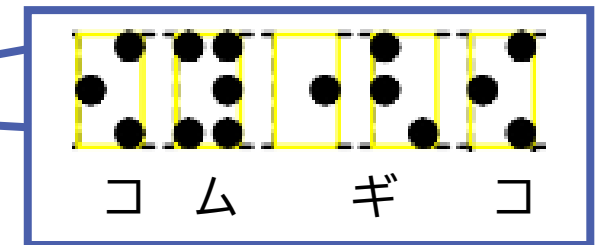


消費者・社会の要望を踏まえた改善・開発

誰もが使いやすい製品へ

2020年1月、視覚障がいのある方との意見交換会を実施した際、「日清 クッキング フラワー®」とその他の製品が同じ形状で製品の区別が付きにくいとのご意見をいただきました。

頂いたご意見をもとに改善に取り組み、実際に視覚障がいのある方に点字を確認していただくなど、多くの方にご協力をいただき、2022年春のリニューアルより「日清 クッキング フラワー®」のボトルのフタに「コムギコ」と点字を追加しました。今後も様々な消費者の皆さまの声を聴く機会を通じて製品改善や開発に取り組んでまいります。



BtoBforCの取組み

会員様とともに生活者の皆様へ、より良い商品サービスの提供

日清製粉では、2001年に業務用のお取引先様等を対象とした「創・食Club」を創立しました。創・食Clubは、日清製粉と原材料メーカーが一丸となり、リテールベーカリー・製麺メーカー・菓子メーカー・外食企業様など小麦粉二次加工業に従事されている方へ、ビジネスに役立つ情報を発信する、業務用会員制コミュニケーション・クラブです。ここでは、製法技術、製品レシピ、生活者の意識調査やトレンドなどの情報提供、売り場づくりや販促支援など、会員様のビジネスのお悩みにお応えしながらサポートを行っています。



創・食Clubの3本の柱

- ①WEBサイト「創・食Club」での情報発信
- ②電話・メールを介して会員様から相談にお応えする会員相談室(プレミアム会員様限定)
- ③会員様を対象にした創・食Club主催セミナーの開催

健康的な社会・生活の構築に向けて

健康経営への取組み

当社グループは、「健康」という価値を世界に発信し続けている社員が「健康」で「生き生き」と働いている、その実現のために社員と会社が一緒になって取り組んでいくことを健康経営の基本的な考え方としています。

運動やコミュニケーション機会の減少が課題となる中、社会に健康を届ける当社グループ社員の健康増進への取組みとして、タニタヘルスリンク健康プログラム「からだカルテ」を実施しました。参加者が自ら「はかる」「わかる」「きづく」「かわる」を体感しながらPDCAを回すプログラムで、参加者同士でコミュニケーションを取り、ゲーム感覚で楽しみながら健康の維持向上を図ることができます。

◆「からだカルテ」実施内容の例：ウォーキングラリー

「からだカルテ」にアップロードした毎日の歩数をもとに参加社員が競い合い、WEBサイト上で静岡から東京のゴールを目指すイベントを1カ月間実施しました。これには、グループ4社から234名が参加し、「他の参加者と競い合うことで一体感を感じた」といった反響があり楽しみながら取り組めるイベントになりました。



STEP1

歩く

STEP2

歩数データを
アップロードする

STEP3

ゴールを目指す

STEP4

ランキング発表



不確実な時代と向き合い、自社と社会のサステナビリティを追求



そして、その先の未来へ向けて挑戦し続けます。